



## 言語聴覚士による訪問看護の内容を知ろう！

訪問看護ステーションに務める言語聴覚士の数は全国的に見ても少ない現状があります。今回は半年間、言語聴覚士による訪問看護を利用した方の一例を紹介します。

＜利用者紹介＞ Hさん 要介護2  
他の介護サービス：通所介護、訪問介護（入浴介助）

＜利用のきっかけ＞ デイサービスで話しても通じず、話が合わない経験があり、ケアマネジャーより当事業所を紹介。

Hさんが言語聴覚士と立てた半年間の目標『相手に少しでも話が伝わるようになる』

### ＜開始時の状態＞

- ・呼吸が続かず、上手く声にならない
- ・舌の筋力が少なく、話すスピードに舌が追いつかない

### ＜体づくりの例＞

のどの周りの筋カトレーニング



枕から頭を浮かせるように持ち上げる



### 【訪問時の実施内容】

- 1.呼吸や発声に必要な体づくり
- 2.呼吸練習
- 3.短文の発話練習
- 4.自主練習の指導

### ＜自主練習の一例＞

#### ブローイング練習

水を入れたコップにストローで息を吹きブクブクする

10秒維持から開始

少しずつ秒数を長くしながら実施



自主練習中のHさん

### ＜目標を達成し訪問看護を卒業するHさんよりコメント＞

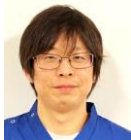
『上手く話せるようになりたくて、自主練習をやりました。前は続かなかったが、声が続くようになってよかった。デイサービスでも他の利用者に少し話が通じるようになった。色々教えてもらったので、今後も続けていきます。』

### ＜ご家族よりコメント＞

『今回指導を受けてみて、声を出すことに姿勢や体幹機能が大切なことなど新たな発見があり、良かったです。』

ほぼ毎日、自主練習に取り組んでくださいました。相手に伝わるように話すことが少しずつ可能となり、今回卒業を迎えました！

### ～新入职紹介～



名前：佐藤 将太（さとう しょうた）

職種：言語聴覚士 出身地：青森県五所川原市

利用者様の生活に寄り添いながら、ニーズに応えられるように最善を尽くしてまいります。言語聴覚士の視点で、運動や趣味などを通じて能動的な活動をサポートしていきたいと思っております！

認知症予防の知識が豊富な言語聴覚士が増えました。お気軽にご相談ください。